OGORI LIBRARY

LIBRARY NEWS

図書館だより

問市立図書館
☎72-4319 F72-3501
開館時間　10時～18時

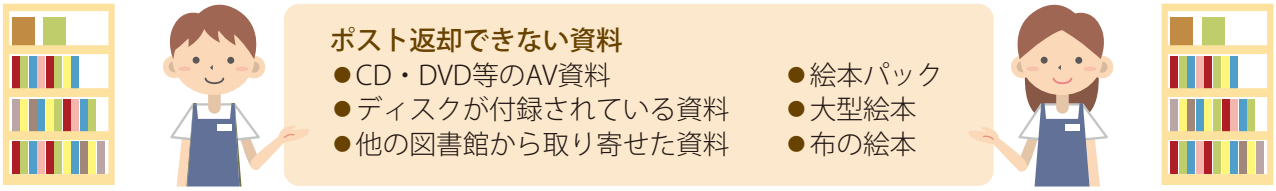
金曜は20時まで
（変更になる場合あり）

6月11日（水）～18日（水）は休館します

市立図書館・ふれあい館三国図書室・移動図書館しらさぎ号・野田宇太郎文学資料館は、館内特別整理のため、期間中は休館・運休します。また、休館中は本の検索や貸出期間延長、予約、一部ウェブサービスも休止します。

本の返却は返却ポストをご利用ください。ポスト返却できない資料は、開館後にカウンターで返却してください。

くるめ広域電子図書館は通常どおり利用できます



ポスト返却できない資料

- CD・DVD等のAV資料
- ディスクが付録されている資料
- 他の図書館から取り寄せた資料
- 絵本パック
- 大型絵本
- 布の絵本

過去の新聞、差し上げます

保存期間の過ぎた新聞を差し上げます。

対象の新聞　令和４年（2022年）分の各紙
朝日・毎日・読売・西日本・日本経済新聞の各朝夕刊
産経・西スポ・The Japan Times
※希望する新聞が重なる場合は抽選

申込方法　図書館カウンターに申込書を提出
※申込書はカウンターに設置しています
申込期間　５月29日（木）～６月10日（火）
受取期間　６月19日（木）～７月１日（火）
※受取場所は市立図書館のみ

新着図書の紹介

生まれてくるときには必ずお世話になっている助産師さん。そんな助産師にも、さまざまな働く場所があります。地中海の救助船で働く、助産師の小島鞠奈さんの本をご紹介します。

船上の助産師

小島毬奈／著　ほんの木

都内の病院でごく普通の助産師・看護師として働いていた著者が、今なぜ地中海で遭難ボート救助船の助産師として働くことになったのか？そこから見えてくる日本は「住みやすいけど、生きにくかった」――。

人道支援活動を通して世界の矛盾を見ると、ときには理不尽な政治に腹を立て、葛藤することもあります。救助した人たちに本気でムカついたり、人種差別を受けたり、組織内政治に呆れたり。一方で、たまには笑ってしまうような失敗もあり、たくさんの人間ドラマがあります。

2013年から９年間で17回、アフリカや紛争地、地中海の難民支援に赴き、まさに今、救助船でただ1人の日本人助産師として活動する著者・小島毬奈さんの、等身大でリアルな手記です。